

野洲市民病院整備事業市民説明会

日 時：令和5年5月21日（日）13：00～14：50

場 所：シライシアター野洲

参加者：77名

【質疑応答】（以下、敬称略）

【駒井】

只今より、会場の方から、ご質問或いはご意見を頂戴したいと思います。

十分なお時間を用意させていただいておりますが、それも限られた時間でございます。ご質問・ご意見などにつきましてはできる限り端的にお願いしたいのと、恐れ入りますが、発言の前にお名前を頂戴したいと思っております。

また、会場の中には、事業関係者の方も複数お越しだと思っております。ただ、本日は、この会の趣旨が市民説明会ということでございまして、ご趣旨を理解いただきまして、事業関係者の方からのご質問につきましてはお控えをいただきたく思っております。

挙手をいただきましたら、事務方がマイクをお届けいたします。こういったご意見でも結構でございます。ご意見の方を頂戴したいと思います。

はい、どうぞ。中ほどの方。

【市民A】

三上学区のAと申します。

（質問が）いくつかあるんで、申し訳ないんですが。

まずですね、今日の説明会を聞いておりましたですね、非常に専門的な内容が多いわけです。我々聞いて、こんなのは専門家が検討することじゃないの、市民が聞いて何になるの、という部分が、かなり多かったように思います。一方で、明日、審議会ですか、専門家の方が検討いただくということで。

私、昨年の市民説明会からも思ってたんですが、いろんなご説明していただく。今日は、質問の時間、1時間取っていただけてますけどね、今までは、それこそ30～40分とかね、非常に短くて。1人1問だ、途中で切られたり、あるいは質問に対して一方的に答えていただくだけで、再質問できないわけですからね、非常に不満が残ります。

そんなことに対して、市長の手紙でね、質問いたしますと、とりあえず返事が返ってくるんですが。それではちょっとはつきりしないんで、更に質問をいたしますとね、「それは前回の言い方を変えてるだけだから答える必要はない」と、そういう回答が返ってくるわけです。

そんなことで進めていって、議会においてもですね、「市民の皆さんから一定の理解をいただいた」と。あるいは医師会さん、徹底的に問題を指摘なさってますけれども、それに対しても、例え

ば市長が仰るのは、医師会の先生で野洲市内の方はね、反対なさっているのは1～2名だと仰いましたけども。逆に、医師会さんの話聞いてますと、いやいやそうじゃなくてね、賛成なさってる野洲の医師会の役員さんでね、賛成なさっているのは1～2名で、ほとんどの方は反対なさっていると、この場所（に病院を整備すること）についてですね。そんなことで、どんどんどんどん、お進めになってると。

市民説明会を今日やって、明日、専門家の会議。専門の会議の方が、まず先じゃないんですか。こういう内容を専門家がよくご検討いただいて、いや、ここはやっぱりちょっとまずいぞ、ということであれば、検討いただかんといかんと。その上で、市民に安心して聞かせていただけるような説明会があるべきだろうと思うんですがね。

例えば、明日の審議会でも、昨年までありました評価委員会でしたかね、あの（評価委員会の）中で、今日も最後にご説明いただきましたけども、地盤の問題。駅前病院の実現の会ではね、あるいは医師会さんも、非常に地盤の問題、気になさってます。それに対して今日、（ボーリング調査が）4ヶ所まで終わって、あと1ヶ所残ってんですかね、ご説明いただきましたけれども。素人がこんなこと聞いてますとね、本当にそれで大丈夫なんかいなと。（ボーリング調査の調査地点の内）3番、4番の場所なんかですね、真ん中あたりで弱い部分があるわけですよ。そんなところに、杭を一番下まで下ろすから大丈夫だと。そうすると、価格に影響してこないのかなと、そんなことも思います。

前の審議会のときには、県立大のF先生がこれはOKなさってるというような説明になって、実はF先生、そんなこと言っていないというニュアンスのことを仰ってね。それが議会で問題になってました。議会で質問されたことに対して、議員さんの質問に対して、諸般の事情で答えられないと、前政策監はね、仰ってましたね。あんな、とんでもないことをなさってる。そうなってくると、審議会だとか、そういうものに対してね、あるいはこういう市民説明会、審議会、明日ある会議にしてもですね、本当に市民のためを思って進めていただいているのかな、と。非常に不信感を持っております。

その上で3点、具体的なことを質問したいと思います。

まず価格の問題です。本日の資料の15ページに出てましたが、物価変動に対する項目がありましたけれども。これですね、とりあえずは96億7000万円ですか、これで進めていくと。ただし、物価変動への対応について、ここら辺ですね、私が心配しますのは、例えば今、関西、大阪万博がですね、ものすごく建築費とかが上がってきてると。当初の予定の倍ぐらいになったとかね、そんな話を聞きますよね。この先、IRの計画も大阪で進むわけです。そうすると、とんでもない物価上昇、建築費とかね、人手の問題ですね、上がるんじゃないかと。前の駅前計画のときに頓挫して再入札になったのはね、あれはちょうど東京オリンピックの工事期間にかかった、そんなことが影響したんじゃないかと思って、見てたんです。そんなこと（と同様のことが）あったときに、96億7000万円じゃなくて、100億円を越しちゃうんじゃないかなと。そんなとき、どうすんですかいなと。実は

上がっちゃったんでしょうがないんだ、ということじゃ済まないと思うんですがね。

それから、21ページに、地震に対することが書いてましたけども。これ、素人ではね、こういう表現では判んないです。耐震構造なのか免震構造にするのか、どちらかかなと。この体育館横の計画が始まったときにね、「50年先を見越して」ということだったんですが。50年先を見越すならです、私は免震構造にすべきじゃないのかな、と。耐震構造では医療機器に影響が出たりとか、そんなことあるんじゃないかなと思います。今もう、ほとんどのね、高層のマンションであれば、ほぼ免震になってると思います。病院なら猶更じゃないかなと思います。

それから、最後の方で30ページですか、マーケットサウンディングの結果をという、こんな意見があったということではありますが。これ、何社から応募というかね、（意見が）出てきたのか。その辺がね、確かホームページでも公表されましたけれども、そのときも何社からあったということは書かれてませんでした。以前、Bブロック計画のときにね、1社だけでしたよね。まさか、ここにはそんな少ないことはないだろうと思うんですが。何社あって、そして、こういう意見が多かったってような表現してますけどね。何%ぐらいがそうだったのかとか、そういう数字的な表現が全くされてません、説明がされてません。この辺についても、今までのいろんなね、市民が反対意見、市民説明会のいろんな反対する意見が出てましたけども、概ね賛成いただいたと、ご理解いただいたということで、（事業を）進めていただいている。このやり方について、非常に不信感を持っておりますから。多分、今日お集まりの皆さんの中にも、こういう不信感もお持ちで聞いておられる方、非常に多いと思います。

是非、その辺を払拭するような対応を、今後、お願いしたいと思います。

以上です。

【駒井】

A様、大変貴重なご意見ありがとうございました。

いくつかご質問をいただきましたので、お答えの方、できる限りをさせていただきたいと思っております。

まず、今回の市民説明会と、明日予定をいたしてご置きます審議会の、日程の後先のことを仰っていただいたのが最初だったのかな、というふうに思うんですけれども。

我々といたしましては、市民説明会で今のように頂戴をしたご意見でありますとか、また明日の審議会で先生方から、今度はまた別の視座から頂戴する専門的なご意見でございますとか、あと、水曜日には市議会の特別委員会もご置きます。その三つのイベントの中で、様々な立場から、様々なご意見を頂戴するだろうというふうに考えてご置きます。それらの意見をそれぞれ分析させていただきまして、6月の入札公告、公に告げる入札公告には、可能な限り意見の方を反映させていただきたいなという思いでございます。

従いまして、特に日程の後先というものの、世の中同時には必ずできないわけでございますから、

というのは生じて、致し方ないというように考えてございます。Aさんが仰ったように審議会が先である必然性は、私どもとしては、ないと認識いたしてございます。

後ですね、地盤の問題を仰いました。私ども、今日、資料をあえて提供させていただいておりますのは、市民の中で、かねてから一部のところから、地盤のご心配をいただく市民の方、団体の方があったということにご配慮申し上げまして、こういった資料提供をさせていただいております。説明の中で課長が申し上げましたように、本来、今回行っております調査は、地盤の確証を得るといったものが目的のものでは、全くございません。この場所に病院を建てることを、建てられない可能性はございません。これは、市がかねてから申し上げておる通りでございまして、今回の調査の結果を見ましても、ここに病院が整備できないことは、全くございません。

あえてこのような形で、ご不安を払拭するためにお示しをいたしておりますものの、この調査の目的は、事業者の方に適切な積算をいただくためのテクニカルな調査ということでございますので、誤解をいただかないようお願いしたいと思います。

あと質問の1, 2, 3と頂きましたが、いわゆる物価スライドの問題と思うんです。ご指摘の通りでございます。Aブロック病院のときは東京オリンピック、そして今次におきましては、グローバルに考えますとウクライナのロシア侵攻、日本の地域、関西地域を考えますと、今おっしゃった万博であるとかIRであるとか梅北の開発であるとか、そういったところで、建築の価格というのは急激な上昇傾向にある。これはもちろん、ご指摘の通りでございます。従いまして、物価スライドというものを、当然、入れないといけないわけでございます。

昔の契約では、これちょっと良くない言葉かも知れませんが、いわゆる業者さんに泣いてもらうとか、まかり通った時代もあったと聞いてございます。しかし、適切な執行をしていく上で、行政たるものは特にですね、そういったことは許されることではございません。価格が上がれば上がった分。これは、何を基準にスライドさせるのか、かなり複雑な話になってまいりますので、ここでは割愛をさせていただきますが、物価スライドというものは、当然、入れてこないといけない。

上昇傾向にありますから、物価スライドを入れるのであればですね、今ご指摘ありましたように、もうこの病院事業を止めるのかと。そんなことは不可能なわけでございますし。いち早く野洲市民の方がお待ちになっておられる新しい病院を、確かに大変厳しい現状の中ではございますが、その状況の中で整備をしていかななくてはならない。そういった覚悟に、今、野洲市はあるわけでございます。

次に、耐震か免震かということについて、お伺いを頂戴いたしましたが、本件の要求水準におきましては、いずれもお受けをさせていただこうと考えてございます。ただですね、基本計画書の中で、既に市議会の方でもご確認をいただいて予算をつけていただいておりますが、基本計画書の中におきましては、我々施主側としては、耐震を基準に計画をするというように明記をいたしておるところでございます。

最後にマーケットサウンディングでございしますが、端的にご質問いただいております何社からという部

分でございますが、これに関しましては、現状お答えをさせていただくことが出来ません。正常な競争を確保するため、現在、情報非公開という部分でございます。

ただ、一点申し上げるならば、当初見込んでいた、数社程度ではないかと思込んでいたよりはですね、相当たくさんお越しいただいたということでございまして。本事業に対して関心を持ちいただいているということで、大変ありがたいことだなと考えておるところでございます。

また内容の中に数理的な表現が少ないと仰った部分につきましても、ただいま申し上げましたような理由によるものでございますので、ご了解をいただきたいと考えてございます。

なお、このマーケットサウンディングの結果につきましては、入札が終わりまして事業者が決定いたしました後にですね、適切に公開をさせていただきたいと考えてございますので、ご了承いただきたいと思っております。

以上でございます。

他にご意見ございませんでしょうか？

A様、どうぞ。

【市民A】

ちょうど（柱状図の）画面が出てますからね、なんです。去年ですね、去年説明会していただいたときには、地盤の問題については問題ないですよということですね。F先生からの文書、文書だったかな、F先生からこういう具合にOKいただいている。但し、F先生の名前は出てませんでしたけども、委員会の委員さんからOKいただいていると、だから大丈夫なんだという説明の仕方がありました。

ところが今回はね、そういうことを専門の先生からのOKとか出てなくてね。市が、大丈夫だと。それこそ駒井さんなりがね、これで大丈夫やと。市の中にそういう専門家もおられるんでしょうけども。それで仰ってるわけです。

去年はね、そういう専門家がOK出しておられる、だから大丈夫なんだと。市民がごちゃごちゃ言うなど、極端に言えばですよ。心配せんでええんやという説明の仕方だったと思うんです。

ところがそれがね、後でちょっとF先生の方のお名前まで出ちゃってね。ごだごだになりましたけども。市議会でも取り上げられたりね。その辺についてね、答弁を濁すような、あんな対応を取らざるを得なかったと。

今回は、いやいや、これで大丈夫なんやと。一番深いところまでね、杭を打つから大丈夫なんやと。その杭を打つ費用は、この96億7000万円ですか、その中に含まれてるんですかね。そういうことが、ちょっと気になりますね。

【駒井】

よろしいですかね。

まずですね、今、具体的な先生のお名前を、この場で堂々と仰っていただいておりますが。大変、当該先生には、ご迷惑がかかっております。そのことを、十分ご認識をいただいているのかどうか、いささか不安になりますが。そういった…。

【市民A】

原因作ったのは市でしょうが。あなた方が原因作ったんでしょうが。そうじゃないですか。

それをね、私が名前を出す。それはね、議会でもね、名前出たから。一方でね、議会で稲垣議員が質問するとき先生の名前を出されたら、議長がストップしました。名前を出すのを止めとけていう感じのね。ああいう対応してたんですよ。

【駒井】

話を私の方から続けさせていただきたいんですが。話の途中でお話いただくのは、申し訳ないですが、私が司会者でもございますので、司会者のご指名後に発言をお願いいたしたいと思っておりますので、しばらくお控えいただきたいと思うんですが。

今仰っていただいている件、「市が原因を作った話ではないか」というようなこともご発言にあったわけでございますが。

市は、この計画をこの場所に持ってきた当初から、この場所が地盤によって建築ができないという想定は、一切、いたしてございません。

市民の方から、一部市民の方から、そういったご意見が出てまいりましてですね。大変な情報戦略というかですね、アナウンスをいただいたことに配慮して、対症療法的に、様々な形で大丈夫だということをお伝えした。その中にですね、某専門家の先生から「市の考え方で問題ないものと思料する」という発言をいただきましたので、それをエビデンス、つまり根拠の一つとしてお知らせをしたわけでございます。

冒頭、当該先生に大変ご迷惑がかかっているということを申し上げましたが、先生がお困りいただいておりますのは、「保証人」という呼ばれ方を野洲市内でされているということをご承知なされて、遺憾な思いをされているということでございます。

市は、「当該先生が保証された」などということは、一切、申しておりません。申せるわけがないので、申しておりません。

当該地盤の安全性というものは、構造とともに証明されるべきものでございます。構造とともに当該地盤の安全性が証明される時点は、いわゆる実施設計の最中になります。確認申請、そういった手続きの前段で、公的な認証機関の認証を得るという中で、初めて、保障されるわけでございます。そういったことを我々当初から熟知してございますので、そういった表現をいたしたことは、市にはございません。

そういった情報拡散が、私は承知いたしません、いずれかのところから甚だしくなされてですね、それによって当該先生は大変ご迷惑を被られた、大変、遺憾に感じておるわけでございます。以上でございます。

他ございませんか。

【市民B】

小篠原のBといいます。

先ほど司会者の方からは、病院問題に関して何でもいからということで仰ってたので、それも含めてちょっと質問させていただきます。

まず最初にお伺いしたいのは、先ほど質問がありました価格の問題ですけども。物価上昇ということを考えて、今度の（病院整備）価格が変動がするということも仰ってたんですけども。これには一定の限度というものがあるはずなんですけども、その限度額というのは、市の方は説明できるかどうか。まず1点目として、お伺いしたいと思います。

それから2点目、3点目には、直接、建物の、今日の説明会とはリンクしてないんですが、質問させていただきます。

この建物についてのことでは、お金さえかければどんなところでも病院は建てられるというような解釈は、私どももしております。それで質問したいのは、こういう建物を造るにあたっての説明、これは専門家の方々でないとなかなか判断がしにくい部分が大部分を占めています。

ここまで問題が出て、市の方の説明があやふやな点。それは、高圧電線下の問題での、電磁波問題。これについては、ここまでの説明では、今のところ基準をクリアしてるから問題ないねやということだけを仰いますけども。日本の各地で起きた公害等を考えてみてほしいんです。10年後、20年後に科学的な根拠が示されて、結果的にはこういう電磁波が、患者さんやスタッフの皆さん、長い期間、浴びたおかげで、影響が及ぼしたというようなことが起こるわけで。こういう電磁波がわざわざ発生する所にわざわざ建てるということ自体に、私どもは今でも不信感を持っています。

それと、もう一つはページ28のところに記載されています、働く方々、スタッフの皆さんの環境問題が書かれております。これは建物内で働くことだけのことが書いてありますけども、ここで働くための外部的な環境、こういったことが一切明らかにされないまま、というふうに思うんです。過去の説明会では、近くの、例えば住むところはマンションとかアパートとか、そういったところを借りるんだということが説明されてきただけで、この2行だけを今日説明されて、職員の方々の働きやすい環境ができるんだというような説明というのは、少し市としては横柄な態度ではないかというふうに思います。

以上3点について、お聞きいたします。

【駒井】

B様、大変ありがとうございました。

詳細な約款の方を今、読み下しておりました。一旦、流し読みというか、させていただいた段階ではですね、限度額というものについての定めは特にはない、という理解でございます。

2点目にお伺いいただきました、高圧送電線の問題でございます。いわゆる電磁波のご心配、人体に対するご心配について、ご指摘をいただいたわけでございます。

これに関しましては、去る12月13日に、東京からですね、電磁界情報センターの大久保教授を招きして、市民講座を開催させていただきました。この中にもお越しいただいた方、おられるのかもわかりませんが。そこで申し述べられた知見に関しまして、当方の方で整理をいたしておりますことを再度申し上げます。

まず、電磁界というものにつきましては、電界と磁界に分けられるということでございます。そして、このうち人体への影響が心配されるのは、磁界の方でございます。

磁界は幅が広うございまして、大きくは、周波数の高い電離放射線と、或いは低い非電離放射線というものに、大別されるわけでございます。このうち、細胞の遺伝子を傷つけるのはですね、X線などが含まれますが、電離放射線の方でございます。非電離放射線には、そのような（細胞の遺伝子を傷つけるような）特性はございません。

磁界の中で、大半が非電離放射線に該当してくるわけでございますが、非電離放射線の中でもですね、周波数にかなりの幅がございまして。いわゆる携帯電話でありますとか、お店に置いております商品監視ゲートに代表されるもののようなですね、非電離放射線の中でも高周波磁界を発生するもの。一方で、ご指摘いただいている高圧線などにつきましては、超低周波磁界というものに位置するわけでございます。

先ほど申し上げました非電離放射線の、高周波磁界と超低周波磁界と、2つあると申し上げましたが、その二つの内で人体への危険性などが心配されておりますのは、高周波磁界の方でございます。

ご指摘の高圧送電線につきましては、関西ですと60Hzであり、超低周波磁界というものに該当致すわけでございますので、基本的に危険性はないとみなす。ということが、12月の大久保先生からのご識見であったというように考えてございます。

ただですね、1979年にですね、ウェルトハイマー（Wertheimer）とリーパー（Leeper）という研究者の方が発表をされました、小児白血病に係る関連性の報告にのみですね、この超低周波磁界に関しての懸念、小児白血病の発症率が高いというような報告がなされてございます。1979年でございますが。しかしながら、これも大久保先生のご指摘でございましたように、ウェルトハイマーとリーパーが発表したこの報告についてもですね、近年では、サンプルの取り方に偏りがあったということが確認されており、結果が揺らぎつつあるということでございます。

総じて申し上げるならば、電磁波の問題につきましては、危険であるというエビデンスも危険で

ないというエビデンスも、事実ないわけでございます。ただいま申し上げましたような解釈が一般的である、というように考えておるところでございます。

それと（スタッフの職場）環境の問題ということで、今回の資料の中で、我々の資料の記載が横柄ではないかというようなご指摘もいただいたんですが。すいません、ご質問は広く承っておりますが、今回の資料につきましては建物の整備に関する資料でございますので、必然的にそういった内容に、限られた内容になっているということでございます。決して横柄に考えているわけではございません。病院を造るだけでなくです、その中で働いていただいているスタッフ、働くスタッフのQOLも非常に重要でございますし、ライフワークバランスも大変重要になってくるわけでございます。そういったところにつきましては、ソフト面に対応するべきところもございまして。先ほど（Bさんが）仰ったマンションというのは、おそらく看護師等の寮のことかなと思いますが。もちろん、そういったところにも引き続きですね、利便が図れるように取り組みを進めてまいりたいと思っておりますので、ご了解いただきたいと思います。

以上でございます。

他、よろしゅうございますでしょうか？

後ろの方の男性の方。

【市民C】

マイク要らない。

私、Cと申します。恐縮ですが、年齢が86歳を超えてるんですけどね。

僕はこれ、つくづく思うのはね、何年かかっているんですか、これ、野洲市。病院問題で。全国的に考えたら恥ですよ、本当に。行政と市民が、ほとんど一体になってないんですよ、僕に言わしたら。僕はもう無学ですけどね、こんな状態では駄目ですよ。もっと真剣に、市民も考えないと駄目ですよ、これは。

僕は、今のこの野洲病院は、これ建てるのは、この場所は、僕は反対ではないです。反対ではないけどですね。

僕は無学ですよ、無学ですけどね。こんなね、この全国から言ったら恥ですよ。何年かかっているんですか。同じことばかり、繰り返し、繰り返しやっているとですよ。もう少し市民も、ね、協力するところは協力しないと駄目ですよ。

僕はね、ここの、野洲の人間ではないんです。近江八幡。事情があって、野洲で36年暮らしているんですよ。近江八幡、見てごらんください。全て、いいとは言えないですよ。

本当に僕もね、もう人生、これ先が見えてるんですよ。86歳を超えてるんですよ。

このね、市長もよく頑張っておられると思いますけどね。できるだけ、市民とそして行政がね、一体になってね、頑張ってくださいよ。それだけですよ。

以上。

【駒井】

ご意見ありがとうございます。もし、市長など、よろしゅうございますでしょうか。

【市長】

Cさん、ありがとうございます。

私も一生懸命、市民病院に、市民が選んだ病院ですので、市民病院、1日も早く整備したいということで、必死に頑張っております。横におります管理者とともに一緒になって、本当に市民のためになる病院を整備してまいりますので、ご理解いただきますよう、よろしく願いをいたします。

【駒井】

ありがとうございます。

そうしましたら、その他、ご意見ございませんでしょうか？

はい。真ん中で挙手いただいている方、お願いします。

【市民D】

三上学区から来ましたDといいます。

先ほど司会者の方から、答えれる範囲で答えますということだったので、2点ほどお伺いしたいんですけども。

まず、建設のコストが96億7000万円という数値になったんですが。これは以前の説明ですと、3年間で物価上昇を8%ということで、それを根拠に出された数字だと思えます。ということは、今、もし、現在、今すぐ発注するとしたら90億円ということになると思うんですけども、3年後に完成するまでには96億7000万になってしまうと。こういう計算かと思えます。

それで、先ほどの説明いただいた中に、今日、事業者の方も大勢お見えということなんですが。例えば、私が想像するのに、予算価格に対してですよ、入札者が何社こられるかわかりませんが、多分、スーパーゼネコンはもう絶対手を出さないというふうに考えられますね。わかりやすく言えば、皆さんが自分の家を建てられるときに、超一流のハウスメーカーで建てられるか、または町の大工さんとか町の業者さんで建てられるかで、同じ要求内容であっても価格は変わってくるんじゃないか。ということで、これは私の一方的な考えですけど、スーパーゼネコンは入ってこない。しかし、金額が大きい事業ですので、やりたいという業者さんは沢山おられるということは、先ほどの説明でよくわかりました。

それと、Aさんから何度も質問されている中で、私も栢木さんをお願いしたいんですけども。今日は地盤の、数値のデータを出していただきましたけども。以前、市長が何度も言われてました、

野洲市で開業されてる医師会さん(に所属の医師)は概ね賛成だということを、何回もお聞きして、先ほども触れられてました。私、これ、市長への手紙を通じて何回も確認させていただいたんですけども、エビデンス、エビデンスと言われる割には、エビデンス、全く根拠は示されなかった。「概ね」ということで。「概ね」ということは、一般的な解釈で言うと80~90%以上を「概ね」というふうに、ある文献には書いてました。なんで答えていただけないのかなと。野洲市のことですから、正々堂々と答えていただきたいなと。

でも、私があんまりしつこいもんですから、今度3月の時点で、事情はあるんですけども、私の市長への手紙は「収受はするけどもお答えはしません」というメールを、市の広報からいただきました。あっさり、私はその時点から広報さんに対して、メールも何も、市長さんの何も、文句言ったことありませんね。

でも、ただね、皆さん今日も反対、反対じゃないですね、やっぱり、いい病院をとということであれば、問題が完全に払拭されてるということが一番大事じゃないかと思うんですよね。まだ問題が存在してるのに、今日、事業者の方たくさん来られてるということですけども、ほんまにこれで進めていいのかなという疑問を持った次第です。

お答えできる範囲でということですので、よろしくお願いいたします。

【駒井】

Dさん、ありがとうございました。

ご指摘いただきました件でございますが、一部、ご認識をご訂正させていただきたいと思っております。3年間で8%というようなことを仰ったと思うんですが、最近、もっと上昇カーブは急劇でございます。今回の予算の積算の根拠といたしましたのが、本日の資料の参考資料で、説明を割愛をさせていただきましたが、34ページにつけさせていただいてるようなところでございまして。

基本計画を定めたとき、令和4年10月の段階からですね、34ページに、吹き出しで書いてございますけども、この入札が行われる段階までですね、約9%ぐらい上昇していきだろろうというように考えております。これは、(令和4年10月)当時の試算でございます。

最近少し聞き及ぶところでは、中国の方で、新聞にも載ってましたけれども、中国の方で少し鉄鉱石がだぶついていると。アフターコロナを見据えて、中国の方で、国内の鉄鉱石を買い占めていたものが当てが外れて、それが国際市場に流通しているというふうに聞いてございます。そういった影響があって、常に上昇しているというわけではないんですけども、それでもやはり大変厳しい上昇傾向にあるということ。これはDさんご心配いただいている通りかなというふうに思います。

それから、今、ご自身のお考えで申されました、どういった業者が入札してくるのかということにつきましては、それはあくまでもDさんのお考えということで、賜りたいと思います。

後ですね、医師会でございますが。我々といしましては、概ねの先生方はご理解いただいているように認識をいたしておるところでございます。「概ね」というものは、辞典を調べられる

とご指摘のような記述があるのかもわかりませんが、語彙から持つ解釈は、「概ね」というのはあくまでも「概ね」ということですので。私どもは、地域の医師会の先生方は、概ねご理解をいただいているというように判断をいたしているところでございます。

あと、様々な問題が払拭されていない中でこれで進めていいのか、というご指摘でございますが。私どもとしては、これから先、どのような具体的な問題が、おそらくまた出てくること、これはいかなる事業でもありうることでございます。しかしながら、本件に関しましては、問題解決を有耶無耶にした状態で進めているということは、一切ございません。

今回の事業については、執行部として、懸念している問題課題はございません。

以上でございます。

そうしましたらですね、時間、少しございますので、ご意見頂戴したいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

【市民A】

今日、資料はついてるんですがご説明なかったんですが、採算計算のところね。基本計画時から、今回、見直しをしたということで出てたんですが。

私、非常に心配してるのはね、あその場所で、ちゃんと患者さん集まるのかなと思ってるんです。当初から、市の中心部に造るから大丈夫なんだと、いいんだ、これがいいんだと仰ってますけれども。人口は、非常に偏っております。今、野洲駅近くでね、マンションが次々と建っておりますよね。また、あの界隈は人口が増えます。にも拘らず、ああいう場所に（新病院を）持ってくる。

私、以前ね、市長への手紙で質問したときに、私の住んでる所からはですね、10分で新病院に到着ができるという説明があったんです。返事ではね、職員が測ったら9分で行けましたと。いうことだったんですが、どう私が測っても、13~14分はかかるんですよ。距離はね、5~6kmあるんです。私の家からね、体育館の敷地の入口までで、5~6kmあります。今の野洲病院だと3km弱です。済生会病院は（私の自宅から）、やっぱり3km程なんです。そういうことを考えますとね、他の皆さんだって、野洲病院、あんな遠くへ行っちゃったら、もう通うのを止めとこうと。しかもね、先生、どんな先生に変わるかわからない。場所が不便な場所だから。

以前、事業管理者の前川先生がね、何の会議のときだったかな、「私も駅前にはね、便利だと思いますよ」ということを、確かおっしゃってました。ね、そういう場所になると、お医者さん、看護師さん、ちゃんと確保できるのかなと。

そういう状況の中で、6年目からだったかな、医業収入が増えるようになってます。これは以前の説明の中では、維持期病棟だったかな、なんかそんなのを増やすからね、それで稼げるんやと。一方でコストがかからないというようなことも仰ってました。看護師さんの数がね、減らせるからとか、そういうなこといろいろ仰ってましたけども。そんなことを含めて計算されてるんでしょう

けども。患者数がね、本当に確保できるんですかと、あその場所で、従来通り、或いは増やせるのかと。

これ、前川先生どうですかね、ご自信ありますか。あるいはドクターの確保にしても。

【前川】

ご質問ありがとうございます。病院の経営についていろいろご意見をいただいて、感謝しております。

私は、実際、どこの場所に整備されてもちゃんと病院経営ができるということが、私の仕事だと認識しております。

病院のですね、収入源の3分の2は、実は入院患者さんであります。私ども市立野洲病院の入院患者さんに関しては、高齢の方が多かったり、実際なかなか自分で歩いてこられる方が多くないという現状があつて。今、多分、（Aさんが）心配されているのは、外来患者さんについて、通うのが大変だということだと思ふんですけれども。収入でいくと3分の1。実際、入院患者さんが非常に大きな病院の収入源になっている。入院患者さんに関して言うと、駅前であろうが、駅から少し離れていようが、あまり入院患者さんについては変わらないであろうと想定しております。

当然、ご心配のようですね、医療従事者の通勤に関しては、駅前の方が便利なことは便利ですけれども。必ずしも、新病院と駅前との移動のバス等の確保ができれば、問題ないのではないかと思います。当然、今もですね、毎日250人余りの患者さん、外来来ていただいておりますけれども、このうちですね、実際に交通公共機関、或いはJRを使って来られる方は、本当に少ない。ほとんど車の方が多いので。それもそんなには心配ないのかなと考えております。

いずれにしてもですね、先生方、医師会の先生方からもご意見を伺ってですね、新病院でちゃんと医療が、経営も含めてできるように頑張っていきたいと思ふますので。市民の方々からもご協力よろしくお願ひしたいと思ふます。

以上です。

【駒井】

ありがとうございました。

その他ご意見よろしゅうございますでしょうか？

時間は、まだあるわけなんですけれども、長時間に及ぶ会議もおつかれいただこうと思ふますので。そろそろこの辺りで、説明会を終了してまいりたいと思ふところでございます。

最後に、野洲市副市長の佐野より、お礼の言葉を申し上げます。

【佐野】

副市長の佐野でございます。閉会に当たりまして、一言お礼を申し上げたいと思ふます。

本日は様々な、貴重なご意見をいただきました。

いただきましたご意見につきましては、専門家による病院事業の審議会が出た意見もあわせまして、事務局で十分な分析をした上で、可能なものにつきましては最終の公告内容に反映させていただければと考えております。

市長執行部といたしましては、隣におられます前川病院事業管理者とともに、11月に予定をしております入札を適正に執行してまいりたいと思います。

併せて、市民の皆様から愛される新しい野洲市民病院の整備につきまして、確実に進めていくように参りたいと考えてございますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

以上、甚だ簡単ではございますけれども、市としての御礼の言葉とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

【駒井】

ありがとうございました。